

「教員になる」という想いを全力で支援します



令和3年度 第2号

未来への挑戦

宮崎国際大学 学生教職支援センター通信 2022年3月10日発行

若竹の伸びゆくごとく子ども等よ
真直ぐにのばせ身をたましひを 若山 牧水



宮崎国際大学
マスコットキャラクター ミツク

本学教育学部4年生20名が小学校公立学校教員採用試験に合格しました

学生教職支援センターでは、この1年、コロナ禍の中で「教職に就きたい」という学生の夢の実現に向けて、いろいろな取組を行いました。その結果、**小学校公立学校教員合格20名**(宮崎県16名、大分県3名、熊本県1名)**小学校公立学校教員合格既卒生9名**(宮崎県7名、熊本県1名、鹿児島県1名)、**中学校公立学校教員(英語)既卒生2名**(宮崎県2名)、**高等学校公立学校教員(英語)既卒生2名**(宮崎県2名)と大躍進でした。教育学部小学校公立学校教員**現役合格率は過去最高の87%**を達成しました。

計画的な日々の努力が結果に結びつきます

先日、卒業を前にした二人の学生が、採用試験に向けて自分たちでまとめた資料を学生教職支援センターに持参しました。その学生二人は1年後期から準備をはじめ、3年生前期の対策講座では、付箋や赤線などがたくさん付いた**教職教養や教科の参考書・問題集**を取り出し、毎回黙々と問題に取り組んでいました。二人は**その集大成のファイル**を、**後輩に参考にしてほしいと置いていきました。**

全教科の教科書をしっかり読みこなし、分析・まとめた**教科書編、教職教養の基本と応用編**、教育に関する基本的な**用語集、面接対策、模擬授業の練習問題及び注意点**等や宮崎県の**過去問題や対策**など採用試験対策の内容が分かりやすく整理されていました。二人の教職に就きたいという思いを強く感じました。そして、自分たちに続く宮崎国際大学後輩に対する期待とエールがひしひしと伝わりました。

教員採用試験二次試験

受験者からは、「対策講座等で練習していたので、**想定していた問題が多く**とても答えやすかった」という感想が多く寄せられました。英会話はジェスチャーや問いかけを入れるとやりやすかったという報告もありました。模擬授業は、「**できない・わからない児童**」に対する**対応力・指導力**を求めていると感じたとのこと。展開の流れに「できない・わからない児童」に対する配慮が必要と感じたそうです。

また、二次試験会場がひなた教師塾会場の宮崎県教育研修センターであったため、緊張感が少し和らいだとの声が聞かれました。

教員採用試験二次試験 令和3年度実施(令和4年度)

会場 宮崎県教育研修センター

模擬授業(30点)

思考時間(15分) 試験官(3人)

- 質問例
- ・ 本時の内容で子どもたちがつまずくと思われるところはどこですか。
 - ・ 4人組の活動で児童はどんなことを話し合うと想定しましたか。
 - ・ この単元で児童に一番身に付けさせたい力は何ですか。
 - ・ 丁寧に説明しても、それでもわからない子どもがいたらどうしますか。
 - ・ 5年生でも簡単な比例を習いますが、6年生の比例の学習との違いは何ですか。

個人面接(30点)

約20分 面接官(3名)

- 質問例
- ・ 願書内容(願書の裏面に書いた志望動機など)は必ず出ます。
 - ・ いじめのない学校、学級にするためにあなたは何をしますか。
 - ・ いじめが起きないために、保護者とはどのような関係を築きますか。
 - ・ 教職員の不祥事が起きないためにはどうすればよいですか。
 - ・ ICTを利用することのメリットは何ですか。
 - ・ コンプライアンスの中で特に興味があるものは何ですか。
 - ・ OJTの制度についてどう思いますか。メリット・デメリットについて述べてください。
 - ・ コロナ禍における生徒指導上の問題は何かと思いますか。
 - ・ 最近のニュースで気になるものは何がありますか。
 - ・ 不登校を未然に防ぐために教師にはどのような力が必要ですか。



英会話(10点)

約3分 面接官(2名)

- 質問例
- ・ 6年生の児童に英語で自己紹介をする。
 - ・ カードの絵を見て、質問に英語で答える。カードに書いてあることを話す。
(海で遊ぶ少年の絵、釣竿を持った人、犬を連れて散歩する女性等の絵が描かれていた)
 - ・ ○と△はどちらが好きですか。(英語で質問…海と山はどちらが好きかなど)
 - ・ 夏休み明けの最初の英語の授業です。授業の導入を英語でしてください。
 - ・ オリンピックに関する英語での質問。見ましたか。何を見ましたか。
 - ・ どの国に行きたいですか。
 - ・ あなたの夏休みの思い出を話し、児童がその単元に入ることができるような導入を
しなさい。

教員採用選考試験における主な変更点 令和4年度実施(令和5年度採用選考試験)

2月の初めに令和5年度(令和4年度実施)宮崎県公立学校教員採用選考試験における主な変更点が発表されました。詳しくは令和4年3月22日配布開始予定の令和5年度(令和4年度実施)宮崎県公立学校教員採用選考試験実施要項をご覧ください。一部紹介します。

○特別選考試験選考方法は、書類選考のみです。

○加点する項目の追加項目は次のとおりです。

- ・中学校・高等学校教諭等英語を受験する者で、CEFR C1以上の英語力を有する者

○第二次選考試験について

- ・第二次選考試験において、ICTを活用した試験を実施する。なお、実施校種、教科等は実施要項でお知らせする。
- ・小学校の模擬授業について、これまで、国語科、社会科、算数科、理科の4教科を実施していたが、国語科、算数科の2教科で実施する。
- ・全ての校種、教科等の模擬授業において、これまで、実施教科や内容等のお知らせは試験当日でしたが、実施教科、領域、単元名等については、第一次選考合格者へ事前にお知らせする。
- ・集団討論は実施せず、グループワークを実施する。

「ひなた教師塾」で実践力を身に付けています

教育学部小幼コース3年生は、8月から月1回の「ひなた教師塾」に参加しています。宮崎県教育研修センターを会場に宮崎県教育委員会及び各学校の指導教諭・スーパーティーチャーの先生方を講師に迎え、実践的な内容を学んでいます。

今年で2年目となるこの取組は、県内外の大学生や県内小・中・高等学校の講師が主に参加し、研修しています。昨年度は参加者のほとんどが本学の学生でしたが、本年度は昨年度と比べて、参加する他大学生の数も増加しました。本学学生は欠席もほとんどなく、課題に真剣に取り組んでいます。

12月の「模擬授業にチャレンジしよう」では、小学校教育実習後であった関係で、それぞれの学生は指導案を作成して参加し、熱心な研究授業を繰り広げていました。閉会后、学生から発せられた「よかった」「勉強になった」という会話が印象的でした。2月は半数の学生が「幼稚園実習」中でしたが、ほとんど全員の学生がリモート研修に参加しました。次年度からは国際教養学部3年生にも研修の機会を広げる計画です。学生の感想の一部を紹介します。

「ひなた教師塾」に参加して

教育学部3年 長友 響香

「ひなた教師塾」では、大学の講義のみでは学ぶことのできない実際の学校生活、先生方の仕事や諸問題への対応など多くのことを学んだ。将来教師として働く上で向き合うべき現実を、学生であるうちに学べたことが一番意味のあることだったと感じている。今後は、教員になれるよう、目の前の教員採用試験対策に向けて準備していきたい。さらに、「ひなた教師塾」で学んだことを振り返るとともに、よりよい教師に近づけるよう学び続けていきたい。

令和3年度「教員採用試験特別対策講座」を終えて

本年度の対策講座は、3月12日(土)に行われる3、4年生対象のひなた教師塾を残して、すべて終了しました。1年生は後期から始まりましたが、本年度から、学習指導要領や総則、各教科の解説等を入学後すぐに購入し、準備を整えてからの出発でしたので、取組も大変真剣で充実していました。

1・2年生の対策講座では、各教科や教職教養など全般にわたっての講義・演習を行いました。それぞれ講師の先生がポイントを押さえ、過去問の傾向や解き方を取り入れた指導を行っていただき、毎回授業に緊張感をもって取り組むことができました。

3年生からは、専門科目及び教職教養対策として取組む時間と「ひなた教師塾」(月一回土曜日)を設定しました。欠席者もほとんどなく、特に、本年度の公立学校教員採用試験二次合格者発表後は、「次年度は自分たちだ」という意識が芽生え、主体的に活動する姿が多くみられました。本年度は国際教養学部教職課程3年生の学生も同じクラスで受講する体制を作りました。お互い刺激を受けながら取り組みました。

また、小学校に外国語科が入り、採用試験での英会話も重視されることから、後期からは、教育学部・国際教養学部別に「英語重点指導」の時間を設けました。外部講師による熱心なご指導によりスキルを上げています。

さらに、それぞれの学年の「対策講座」では、「4年生の学習法に学ぶ」という時間を設けています。7月の教員採用試験(一次試験)に向けた取組や、8月下旬の二次試験の内容紹介をしています。4年生の学生が持参する問題集や自作ノートなどはどれも付箋や書き込み、マーカーペンによるチェックなどの勉強の跡が見られ、下学年の学生にとって大変参考になりました。時間をかけ、計画的・継続的に受験勉強に臨み、時には生活の仕方まで助言する先輩たちの話は、これから教員を希望する後輩の学生への大きなエールにもなりました。4年生のその姿は宮崎国際大学で学んだ自信と誇りが感じられました。

また、教育学部幼保コースでは「保育者養成実践講座」を開設しました。後期からは1年生も含めて4学年で取り組み、幅広く資質向上を図っています。内容は、模擬保育、保育士就職模試試験、キャリア教育、SCOA模擬試験、保育所保育指針グループ研究・研究発表会、人権教育、講話などです。新しい幼稚園教育要領や保育所保育指針に沿った保育・幼児教育を学び、実習の充実や資質向上を目指しました。

最後に、本学の「対策講座」の中には「特別対策講座」がいくつかあります。今年度もコロナ禍で例年夏季休業中に行われる特別対策合宿や特別プログラムは実施できませんでした。しかし、採用試験(一次及び二次)前の外部講師による特別対策講座は実践でき、効果は大きなものであったと考えます。



「基礎Ⅱ」に参加して

教育学部2年 縄田 要偲

今回も対策講座にしっかりと参加することができた。取り組み方も前年度と比べて内容の濃いものになったと感じる。採用試験等で重要となる知識などを身に付けることができた。正直、まだ、私は先生になる自信が持てず、どのように学習をしていけばよいかわからずにいた。しかし、このように教員採用試験のための対策講座を開講していただいたことで、自分の目指す道が見えてきたような気がする。

「4年生に学ぶ」の時間では、4年生のリアルな学習方法や採用試験でのエピソードなど普段の生活や授業の中では聞くことができないことを知ることができた。4年生から話を聞いたことによつて、自分がどのように準備していけばよいかを考えることができた。

「4年生に学ぶ」に参加して

教育学部2年 稲口 葵

先輩方の話を聞いて、各々効率の良さを考え工夫をして対策をしていたことを知り、とても驚いた。自分が受験する地域だけでなく、全国各地の問題を解き、その分厚いファイルを見て“自分も努力した!”という証拠が残るまで努力をしたいと思った。また、自分が間違えたところはパワーポイントにして縮小コピーし、ノートに貼り付けて持ち歩いている先輩を見て、勉強においてはアイデアの発想力も重要だと感じた。

実践力向上の取組み

4年生は卒業すると4月1日からそれぞれの学校で教師生活が始まります。学校では始業式が終わるとすぐに1学期(前期)の授業が始まります。そこで、3月2日(水)に小学校・中学校の教員等を予定している学生を対象として、宮崎県教育研修センターの講師による『学習評価の在り方』についての講義を行いました。小学校は令和2年度から、中学校は本年度から学習指導要領が全面実施となり、育成すべき資質・能力の3つの柱が明確になりました。また、指導と評価の一体化の必要性も明確化されました。この講義では、教科における評価について、具体的に示され、学期末・学年末までの評価の仕方の指導がなされました。

教員採用試験のための特別対策講座を実施

教員採用試験対策講座(3年生対象:外部講師)			
3月7日	教育時事①	算数①	生徒指導①
3月9日	生徒指導②	社会①	教育法規①
3月14日	教育時事②	算数②	社会②
3月16日	国語①	特別支援教育①	教育法規②
3月23日	教育史①	生活科①	教育課程①
3月25日	図工①	算数③	
3月28日	理科②	教育史②	教育課程②
3月30日	教育行政施策①	体育①	音楽①

本学では、3年後期から外部指導者による「教員採用試験のための特別対策講座」を実施しています。本年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響で3月(春季休業中)からの実施となっています。国際教養学部教職課程の学生と教育学部学生40数名が真剣に取り組んでいます。コロナ禍により幼稚園教育実習が延長となり、受講できない教育学部学生が約10名います。その学生には、録画した講義と資料の提供をしています。3月下旬には第2回教員採用試験全国模試もひかえ、緊張感が増しています。